

人が輝くまちへの第一歩を認定

「小川町第5次総合振興計画」策定から1年が経過しました。町は、10年後の将来像を「自に、平成28年度当初予算を組みました。そして、迎えた初めての決算。歳出規模は前年度を指摘・注目した事業を中心にお知らせします。

然の恵みと文化を 未来につなぐ「人が輝くまち」とし、実現に向け「選択と集中」をスローガン 2億2986万円(2.5%減)下回りましたが、議会ではこの切り盛り決算を認定。ここでは議会が

評価

- 入 町税の徴収率が向上 (87.7%→89.0%)
- 入 特別土地保有税の収入 (3023万円)
- 出 自主的な防犯活動の推進 (こどもあんしん110番の家559件、ウルトラ防犯パトロール隊818人)
- 出 和紙原料の楮生産を推進 (3カ年事業の初年度、補助金400万円)
- 出 移住サポートセンターを開設 (町外からの移住者5件9名)
- 出 七夕まつりの成功 (20万4000人の来場)
- 出 リリックおがわの運営 直営に切りかえて3年たつが、利益を出す成果を上げている。
- 出 下里青山板碑製作遺跡の保存 保存活用計画を策定(300万円)。大沢谷遺跡(青山)の測量
- 出 子育て応援ナビの開設 子育て支援に関する情報をタイムリーに配信。
- 出 情報教育の充実 (タブレット端末の導入 各中学校に40台)



ふるさと納税への取り組み

楽天の専門サイトに業務委託し、増収(144万円→210万円)。返礼品も充実。



学校給食の充実

有機野菜を使用したメニューの採用。食物アレルギー対応マニュアルの作成。子供議会から提案のセレクト給食を実施。



青年就農給付金(経営開始型)の利活用

11件12人全員が有機農業の担い手。



地域福祉委員の委嘱

地域の見守り活動の強化を図り、支援体制が充実。

課題

- 入 特別土地保有税の不納欠損処理 (1億272万円)
- 出 行政区の自主防災組織 市街地での組織化
- 出 家具転倒防止器具の普及 単身高齢者へのさらなる周知
- 出 ごみ減量化の対策 資源回収実施団体への奨励 (33団体、延べ85回) 古紙回収の工夫
- 出 リリックおがわの老朽化 空調設備等の修繕費137万円



町道228号線が未完成

平成28年度においても事業完了はかなわず、次年度に持ち越し。(平成29年度完成予定)

平成29年10月には、ホンダが4年後を目途に県内2カ所の完成車工場を寄居工場へ集約することを発表。その影響は大きく、254号バイパスを主に、さらなる渋滞が予想されている。県道部分を含めて同バイパス迂回路の早期完成を望む。

監査委員の意見



代表監査 田端 文夫

平成28年度一般会計の単年度収支は2352万円で、3年ぶりの黒字となりました。しかし、財政調整基金の取り崩し額(2億9070万円)を差し引いた実質単年度収支は2億6641万円で、6年連続の赤字になりました。

本年度一般会計及び特別会計の歳入決算額は

172億4115万円で、前年度に比べ0.5%の減少です。これは、主に介護保険・国民健康保険・後期高齢者医療各特別会計が、それぞれ(4.5%、0.3%、4.1%)増加したものの、一般会計が2.2%減少したことによるものです。

歳出決算額は165億3374万円で、0.8%の減少です。これは、主に介護保険・国民健康保険各特別会計が、それぞれ(3.2%、0.7%)増加したものの、一般会計が2.5%減少したことによるものです。歳出歳入差引額は7億741万円で、6.6%増加しました。(決算審査意見書より抜粋)

※ 入 歳入 出 歳出 ※ (〇〇→〇〇)は前年度との比較です